

2校の歴史を受け継いで 若葉台小学校が開校

けやき台小と若葉小を統合し、新たに若葉台小学校が開校しました。若葉台小は3月に閉校した2校の伝統を受け継ぎ、新たな歴史を創り上げていきます。市は、若葉台小の開校に伴い、校歌歌詞と校章デザインを募集します。また、平成33年3月の新校舎完成に向けて、実施設計を進めていきます。

若葉台小が開校しました

けやき台小と若葉小を統合し、若葉台小が4月に開校しました。

若葉台小は、平成33年3月までの3年間、旧若葉小の校舎と校庭等に建設した仮設校舎を使用します。この間に旧けやき台小の校舎等を解体して新校舎を建設し、平成33年4月に移転します。

また、統合に伴い、けやき台学童保育所は若葉台小の仮設校舎に、きこえとことばの教室は八小に移転しました。

☎教育総務課・内線2474



若葉台小の校舎(平成33年3月まで使用します)

若葉台小の特色

若葉台小では、次の3つを特色とした教育活動を展開していきます。

①多様な異文化を理解・尊重し、世界中の人々と主体的にコミュニケーションを図り、共生しようとする、グローバルな人材育成を目指した外国語活動

②地域と連携しながら、響きあい・

協力しあう楽しさや喜びを体験し、感性や協調性を培う吹奏楽や合唱などの音楽活動

③若葉町の良さを生かした小中連携教育

☎指導課・内線2499



平成29年度に実施した両校の吹奏楽を通じた交流活動の様子

閉校式が開催されました

けやき台小の閉校式が3月3日に、若葉小の閉校式が3月10日に開催されました。閉校式では、市長の閉校宣言や、校長から教育長への校旗返納等が行われました。

けやき台小は昭和41年に開校し、開校以来52年で4,246人の卒業生を輩出してきました。また、若葉小は昭和46年に開校し、開校以来47年で3,257人の卒業生を輩出してきました。

両校の閉校は、若葉台小の歴史の始まりでもあります。両校の歴史と伝統は、統合に伴い誕生した若葉台小に引き継がれていきます。今まで両校を支え、見守っていただいていた地域の皆さんには、新しく誕生した若葉台小の子どもたちが伸び伸びと育つよう、引き続きご協力をお願いします。

☎教育総務課・内線2474



閉校式で校旗が返納されました(若葉小)

校歌歌詞と校章デザインを募集

市は、若葉台小の校歌歌詞と校章デザインを募集します。統合した2校の歴史と伝統を受け継ぎ、子どもたちと地域が未来に向けて夢と希望をもてる歌詞・デザインをお寄せください。校歌と校章は、平成31年2月に開催予定の開校記念式典で披露します。

なお、歌詞には、「けやき」「若葉」「富士」の3つの言葉をすべて入れ、けやき台小と若葉小の子どもたちが出しあった8つの言葉「夢」「笑顔」「絆」「友(だち)」「協力」「双葉」「かがやく(かがやけ)」「仲良く」から2つ以上を盛り込んでください。寄せられた歌詞をもとに、市内在住のジャズピアニストで、たちかわ交流大使の山下洋輔さんによる作曲、国立音楽大学による編曲を経て完成する予定です。



たちかわ交流大使・山下洋輔さん ©Jimmy & DenaKatz

●応募資格 市民の方、市外在住のけやき台小や若葉小にゆかりのある方

●応募方法 5月31日(木)[必着]までに、学務課(市役所2階61番窓口)、若葉台小、九中で配布する応募用紙(市ホームページからダウンロードも可)を、若葉台小、九中に設置する応募箱に投函するか、直接、または郵送、Eメールで学務課 gakumu@city.tachikawa.lg.jp にご提出ください。

☎学務課学務保健係・内線2515



歌詞に盛り込みたい言葉を出しあう子どもたち

新校舎の基本設計がまとまりました

市は、1月に若葉台小の新校舎の基本設計をまとめました。基本設計は、平成28年度に策定した新校舎建設マスタープランで示された理念「共に学び 共に育つ 学校づくり」に基づいて、具体的な内容をまとめたものです。平成30年度に詳細な図面等を作成する実施設計を行い、旧けやき台小の校舎を解体した上で、平成31年度に新校舎の建設工事を開始する予定です。



☎教育総務課・内線2474

(イラストはイメージです)